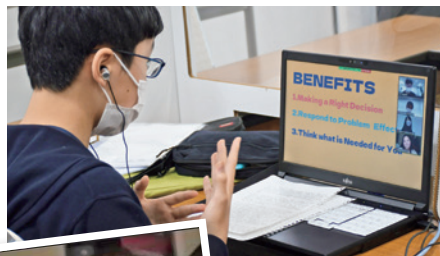
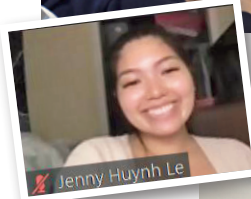


プレゼンテーションセッション



◀パブリックスピーキングのコツは「内容は1割、伝え方と立ち振る舞いが9割」と割合が重要。「内容よりもどう話すかが大事」というJenny先生の教えを取り入れながら、ジェスチャーを交えたり、声の強弱を付けたりと一人ずつプレゼンを行った。



◀「アドバイスした英語の表現を活かしていたね。Good!」とJenny先生。

▶クロージングセレモニーで個人賞の授与式。Most Motivated (積極的・やる気がある)などの賞があった。



名門大学キャンパスツアー



◀国内名門大学生講師が引率して自分たちの大学を紹介するキャンパスツアー。東京外語大や早稲田、慶應など憧れの大学を訪問した。

▶ワークショップで使う専門用語は難しく、オンラインプログラム終了後、英語力の高い国内名門大学生が指導してワークショップの内容の理解度の確認や、次の日の予習を行った。

ハーバードワークショップ



◀「音楽は言語か?」というテーマのもと、歌詞がある音楽と歌詞がない音楽を聴いてメッセージの伝わり方をディスカッション。歌詞がある音楽は明確だが、歌詞のない音楽からはどんなメッセージを受け取ったかをシェアした。Braden先生(経済/音楽専攻)はギターやピアノで「感情」を表す音楽を演奏してくれた。



A&C レベル別英語レッスン



国内名門大学進学セミナー



◀東京大・東京外国語大・慶應SFC・早稲田大国際教養学部・上智大外国語学部・ICUなどの学生が自分の大学を紹介。学部の特徴やおすすめの勉強法など、在校生ならではのリアルな経験談に参加者は興味津々。

プログラム開発者より

英語を身につけることで将来の選択肢が広がる体験を

プラスワン教育 留学事業課 立野りか先生

2013年から始まった世界のトップスクールツアー。今夏のプログラムでは英語力が高いことで定評のある国内トップ大学生たちの指導の下、オンラインでハーバード生と交流しました。海外進学や国内の名門大学の違いなどについて知れる得難い経験となったと思います。



Profile

雙葉高校卒業後、ICUで教育心理学を専攻。ニューヨーク大学大学院で教育演劇学の修士号を取得。英会話教科書、英語演劇本など執筆多数。実姉はイェール大学大学院卒業。

ハーバード生からのコメント

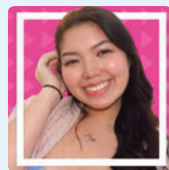
ジェイミー・ケインズ (生物工学専攻)

このプログラムは、参加した生徒にもメンターにとっても素晴らしい経験でした。自分が興味をもったテーマでワークショップを行うことができただけでなく、時事問題について生徒たちの考えを聞く機会もありました。さまざまなトピックについて英語で表現しようとする彼らの決意に感銘を受けましたし、わずか数日で彼らの自信と英語力が向上したことがわかりました。このプログラムに参加できて本当に良かったです。



ジェニー・リー (政治/コンピューターサイエンス専攻)

母国語が英語でない人たちにパブリック・スピーキングを教えることができただけでなく、生徒一人ひとりの柔軟性やユニークな個性から学ぶ機会を得られ、これまでで最もやりがいのある指導経験でした。自分の意見を英語で熱心に表現し、音量や明瞭さ、ボディラングージなどのスキルを使って英語で話すことへ積極的に挑戦する生徒たちの姿から、私自身も学ぶことができました。



ハーバード大学は、各国のスーパーエリートが集まる世界最高峰の名門大学。



▲少人数でハーバード生とオンラインディスカッション!

インワークショップでは5人のハーバード生が先生となり、さまざまなテーマでディスカッションを行う。テーマは「パンデミックへの対応」「同僚性」とパブリックスピーキングとπ」「詩と内省」「音楽、文化とコミュニケーション」「功利主義」とどれもハイレベルな内容だ。

ハーバード生とのディスカッションの予習・復習では、早稲田大国際教養学部や慶應SFCなどの英語力の高い名門大学生講師が、キープレズや英語表現を丁寧な指導。また、ハーバード生とのディスカッション中もサポートをした。

コロナがテーマの授業では「もし自分が政府関係者だったら、どんなコロナ対策を行うか」についてディスカッション。ハーバード生たちも、生徒の理解度を確認しながら話を展開し、徐々にディスカッションが白熱していく。自分自身について詩を

「考えをシェアするという概念が大事」とプログラム開発者の立野りか先生。「海外では、発言をしないとその場に存在していないことになり。自分で考えて自分で発言し、他者の意見も尊重することが大切だ」と。

プログラムの最終日には、一人ずつプレゼンテーションを行った。最初は英語に自信がなかった生徒も最終日には、自分の考えを英語で伝えようと堂々と発表する姿が印象的だった。

作る授業では、自分と向き合い、詩を書いたり読み返すことを繰り返した。英語の詩を書くときは経験・意味・リズムが重要になるため、韻を踏むための単語選びやリズムを作る文構成を考えていく。ある生徒は「自分を振り返りながら詩を作っていくという体験が初めて面白かった」と語った。

SERIES

グローバル教育 最新事情

英語教育や留学制度、海外大学支援など、世界を視野に入れた教育の最新の取り組みを紹介します。

世界のスーパーエリートと中高生が交流!

With 国内名門大学生

ハーバード生 online サマーキャンプ

「世界のトップ大学の学生たちと交流して将来の選択肢を広げてほしい」という思いで始まったプラスワン教育(リソー教育グループ)による国際プログラム。今回のコンセプトは、世界の名門ハーバード大学の現役生・卒生及び東大を始めとする国内名門大学生と交流することで、将来の進路や考え方に刺激を与えること。中高生13名が朝から晩まで英語に向き合い、ハーバード生たちとディスカッションした。

夏休みも終わりの8月後半、都内ホテルにて4泊5日のハーバードキャンプ(略称)が始まった。オンラ